

回答については、質問時の基準に沿って回答しておりますので、現時点とは異なっている場合もございます。

Q 1 2 3 (HBV)

1. HBVキャリアーに関すること

- (1) HBVキャリアーの母から出生したベビーが使用した哺乳瓶やゴムの乳首は別に消毒した方が良いか（現在当院では別にミルクポン®を使用しています。）
 - (2) 血液付着物（衣類や布）は感染性リネンとして別扱いにしているが、沐浴時使用のタオルやバスタオルなどはどうしたら良いか。
- ##### 2. 感染性の器械の一次消毒は必要か
- ##### 3. グルタラール使用の消毒について、緊急の場合の最低浸漬時間は何分か（Ope時使用の場合）
- ##### 4. 結核について
- 職員の近親者が発症した場合、接触した職員にはどのように対応したら良いか（ツ反は二段階法で陽性だが）

A 1 2 3

1. HBVキャリアーに関すること

- (1) キャリアーの母親から出生した児に対してはB型肝炎感染予防のためにワクチンの接種が勧められています。生後48時間以内と生後8～9週目に抗HBsヒト免疫グロブリンを投与し、2回目のグロブリンと同時にワクチンを開始し、1ヶ月、3ヶ月後に追加します。哺乳瓶や乳首も既に行っているように消毒すべきです。
 - (2) タオルなども感染性リネンとして上述のように別扱いにするべきです。
- ##### 2. 器械については現在、手術器具などのクリティカル器具、内視鏡や体温計などのセミクリティカル器具、聴診器などのノンクリティカル器具に分類されています。クリティカル器具は滅菌、セミクリティカル器具は高水準消毒、ノンクリティカル器具は低水準消毒が原則ですが、いずれにしても専用コンテナなどに入れてそのまま中材に搬送する施設であれば、一次消毒は不要です。しかし、搬送中に汚染拡大の可能性がある場合には一次洗浄や消毒は意味があります。
- ##### 3. 手術器具はクリティカル器具ですので、血液等をよく洗浄した後、2～3.5%グルタラール製剤に3時間以上浸漬する滅菌レベルが必要です。なお、30分程度の浸漬では消毒レベルには達しますが滅菌レベルではないのでお勧めできません。簡易オートクレーブなどで再滅菌すべきです。
- ##### 4. 結核患者が発生した場合には保健所長から指導と指示があります。原則的には接触者はツ反の結果にかかわらず、結核の既往、BCG接種歴、最近の呼吸症状の問質の他に胸部X線検査が必要です。発症していなくとも場合によっては発症予防の目的で抗結核薬の投与が必要となります。